

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

| | | | | | |
|------|------|----------------|------------------|-----------------|---------|
| 基本目標 | 4 | 人が集い活力を生むまちづくり | 小施策 主管課等 | 国際リニアコライダー推進事務局 | |
| 施策 | 28 | 国際化の推進 | 評価 責任者 | 太田 真 | 内線 3801 |
| 小施策 | 28-2 | 国際都市づくりの推進 | 評価 シート 作成者 | 阿部 牧子 | 内線 3869 |

小施策の概要

| | | |
|--|---|---|
| 現状と課題(総合計画実施計画から転記) | ⇒ | 取組の方向性(総合計画実施計画から転記) |
| 技能実習法の施行や出入国管理法改正案の成立などにより、一時的な滞在者としてではなく、生活者として来日する外国人の増加が見込まれる中で、外国人の住民が地域社会で生活する上で必要となる環境整備を充実させる必要がある。また、国際リニアコライダーの建設実現を目指し、市民の理解を深めるとともに、関係機関と連携した取組を進める必要がある。 | | 外国人が地域社会の一員として安心して生活できる環境づくりを目指し、生活支援など、必要なサポートの充実に努める。また、観光やビジネスで訪れた外国人が、新たな盛岡ファンの形成へとつながるよう、盛岡の魅力にふれながら快適に滞在できる環境づくりを進める。 関係機関と連携しながら国際リニアコライダーの建設実現を目指した活動を進める。 |
| 対象(誰(何)を対象として行うのか) | ⇒ | 意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態) |
| 市民・企業 | | 国際リニアコライダーの誘致に向けた機運が醸成される。 |

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

| 実績値の推移 | | | | 実績の評価 | | | | |
|---|-----|-------|--|-------|---|----------------|--|--|
| 指標① | 単 位 | 目指す方向 | 成 果 点 | ⇒ | 成果の要因分析 | | | |
| まちづくり評価アンケート調査「国際リニアコライダーを知っている」と答えた市民の割合 | % | ↗ | <ul style="list-style-type: none"> ・“世界につながるまち盛岡”市民会議と共催で「ILCで世界につながるまち盛岡市民大会」を開催し、ILCに関する市民意識の醸成を図ることができた。 ・小学校での出前講座や、高校生以上を対象とした科学技術講座を開催できた。 | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・“世界につながるまち盛岡”市民会議との共催により、これまでと違う層にILCの周知を行うことができた。 ・教育委員会や学校との連携が進んだ。 | | | |
| 当初値 (H25) | - | R1目標値 | 60.0 | | R6目標値 | 80.0 | | |
| | | | 問 題 点 | | | 問題の要因分析 | | |
| | | | <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり評価アンケート調査「国際リニアコライダーを知っている」と答えた市民の割合が減少した。 | ⇒ | <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や科学技術講座の開催及び市民向け講演会を実施したほか、民間団体におけるPRイベント、著名な漫画やマスコミ報道等により市民への周知が図られているが、認知度の劇的な向上に至っていない。 | | | |

今後の方向性(令和2年度以降)

| | |
|---|--|
| 評価を踏まえた取組の方向性 | <ul style="list-style-type: none"> ★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討 |
| <ul style="list-style-type: none"> ★ 広域7市町とも連携して、市民向け講演会を行うほか小学校からの要請に応じて出前授業を実施するなど、市民の機運醸成に向けた取組をより一層推進する。 ★ 誘致決定までのプロセスを注視しながら、引き続き、県、関係市町が一丸となって周知活動を進める。 ☆1 誘致が決定した場合は、外国人の受け入れ環境の整備を重点的に進めていく。 | |